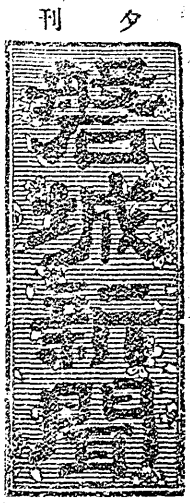
夕刊
十二月二十二日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替口座東京一八〇五番
定價一部金六錢（郵税共）
磐城新聞社



天氣豫報

今曉も明日も北西の風晴

『野麥』その他

島田忠夫

□

『野麥』第四輯を見ると、非常によくなつた。だんだん進歩してゆくことは慶賀に堪へない。前のから比べると體裁もよいし、内容も揃つて來つた。作品も揃つて來つた。これが號を重ねて續かよつて泊つた。所が、いてゆけば申し分がない

□

作品來で、田中賢介といふ人の短歌は大へんいゝ。完成したようではないが、鋭敏な詠みぶりが好感をもてる。中にはひどいのもあるが、棹は抽はぬのは力量が足りないので、下手なりにも抽れでも若し風來坊の私のたつた方がいゝ。しかし、作歌欲のさかんな人には叶はない。田中賢介君のは非常な力があるから熱心につづく泊つた。あの時、翁が句けたらきつと伸びると思ふ。

□

松村清氏の名前はやいぶん古くからきいてゐる。この人の歌はどうも感心できない。この人あたりの影響だから、春から約束してゐた北斗莊訪問も果さぬうちが磐城歌壇にかなり廣がつてゐる。注意しても聞いて呉れまいから一人々々について書かぬ。要するに時流におくれてゐるのである

□

赤羽松堂翁が亡くなられた。實に惜しい人だと思ふつて下さい。体裁の點では若いわれ〳〵にも理解があ以前にも言つたが考慮の餘

つた。『野麥』などにも、きつと力を惜しまぬ所があつたと思ふ

いつか、一夏私は北斗莊に旅のかへりで、高久晩霞先生の木兎莊から、北斗莊へある。これが號ヶ重ねて續の松堂翁の『いびき』が大したものだつた。雷の如しといふ具合で、とても寝つけない

□

さて雀は、耳のとほい松堂翁との話のため、こちらの人の歌はどうも感心できをもつて旅も出來なつかつたから、春から約束してゐた北斗莊訪問も果さぬうちが磐城歌壇にかなり廣がつてゐる。晩霞翁に逝かれて了つた。晩霞先生もさぞ、お力落としでおらう。私も平へ行くたのしみが半減したやうに思ふ

□

『野麥』も明年は大いに育てゝ下さい。体裁の點では以前にも言つたが考慮の餘

地がありませう。俳句、詩、隨筆それ〴〵おもしろくなつたやうですが、眞面目な研究文などあつたら猶よくはないか……と愚考を申し添へる　十二月十六日

平局俳黎會　十二月句會

（三）

短日に心せかるゝ使ひかな　果秋
行き〳〵し床しき人よ時雨傘　麗月
山茶花の色さび〳〵と灯映る　千繪女
背かれて文燒く宵の時雨かな
時雨るゝや嫁ぎし友を思ふ
街日や菊投げ入れし七間の桶

新年短歌俳句募集

一、題　イ、新年雜詠　ロ、寅に因めるもの
數隨意、但し歌俳を別紙に認めること
一、締切　十二月二十五日

贈山崎平驛長

珠雲　小野務平

欽仰襟懷如水清
寡言不伐只躬行
轉邊隨處擧勲績
多歳官海榮又榮

講談

戀の闘鶏組

林　金子　作
士郎　畫

（76）

奇　遇　（二）

勘太と小六は、首をすくめて縮こまつた

『へゝゝそれぢや旦那は何んで御座んすかい、あれからまだ一度もお嬢さんに、お逢えにならねえんで御座んすか？』

『さうさ、考へて見ろ。其方達と別れて以來。どうして幾代と會へる機會があるのだ』

刑部は幾代に會つてゐなし――それを知ると二人はやつと落ついた

『さうで御座んしたか。あつし共はあの慌ぎに、泡ア喰つて旦那の仰有つた道を取り違へやしてね。左へどん〳〵行つちやたつんで御座んすよ』

口を尖らして、尤もらしく云ふ小六

『拙者も大方さうだらうと思つて、早速後戻りをして見たが……』

『あつし共も、お嬢さんから氣をつけられやして、初めて道を取り違えた事に氣度は、附いたもんで御座んすか』

――と思ひながら、遂々戸塚の宿まで來たのであつたが、それでも見へぬ。殊に依ると道を間違へたな？と氣が附いたのぢや』

『飛んでもねえお手數をかけて濟みません。あつし共はそれから……』

まるで油紙に火をつけたやうに、ペラ〳〵と喋舌繼けた二人だが此處まで來るともうあとが行詰つて言葉が出ない

（なんとか此處の辻褄を）

二人の焦燥が目に見ゆる

『それから？』

刑部から性急に責められ二人は眼を白黑させながら

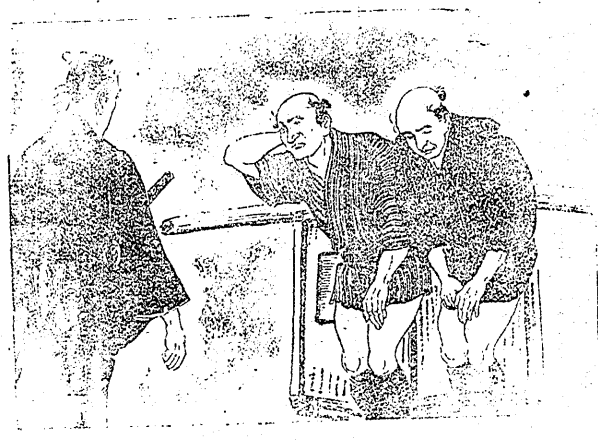
『それからその……何んで御座んすよ、あつし共も今御座んすよ、あつし共も今

刑部は思ひ當ることがあつた

『自身もあの時、不意に役人に取り卷かれて既に危いところであつた）

だが、事知らぬ顔で

『どうしてまた役人などに



『？』と、理由を訊く

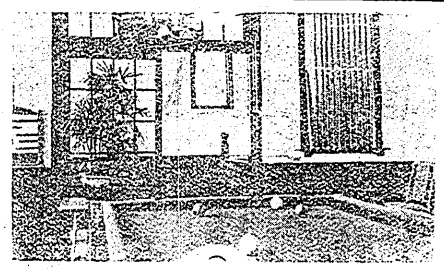
『……へえ……』

二人は、愈々嘘偽りの揑造に苦しんだ

『そ、それが、まつぐく人違えで御座んしたよ……』

『なに、人違ひ？』

『わゝ、黑猫お峰つて女泥



棒と間違えられたんで……』

窮して飛び出した、二人の爲には一生を通じて忘れる事の出來ない黑猫お峰だ

『なに、幾代があの黑猫お峰と……』

刑部は、古傷をばかれたやうな心の痛みを感せや

銃後の活躍に
フタバの自轉車
歳末奉仕大特賣中
十一日より二十五日まで
超高級〇〇記念號自轉車
奉仕期間中　特價三十八圓
税金のかゝらぬ
小型リヤカー　二十圓より各種
フタバ式大型重量リヤカー
二十五圓五十錢より各種
フタバ商會
平市新川町郵便局前

呼吸疾患救濟の王……
陸海軍御用
帝國大學醫學部御用
官公立醫學專門學校御用
吸入用酸素
體溫計（メートルグラス）
御用命次第迅速に御屆け致します。
平市古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
電話四四番
振替口座東京三〇〇六五

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
一度お試を乞ふ
勉强振りを、せひ
一聲せゝる
福島縣平市
電話平四六〇番
營建築材一式
業銘木・ベニヤ板
種秋田産杉四分板
目建具材・便利瓦

忘年會
新年會
鐵道指定旅館
割烹
小瀧鑛泉
電話小名濱一〇三

耳鼻咽喉科
高柳醫院
平蔵町（電三三六）
醫學博士　高柳博明
（入院應需自炊ノ便アリ）看護婦募集

外科、内臓外科
エツキス光線科　院長安齊徹
……新設……産婦人科　醫學士黑澤廣
平市田町
入院隨意　安齊醫院
電話四七五番

整形外科專門
X光線科
平市撥逸小路
穴河内醫院
電話五八八番

御贈答品には
ニンベン
宍戸屋商店
平市四丁目
電話（鹽干部）二一五番（鮮魚部）四〇七番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平市・九品寺前

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日も四日も便通がなくて頭痛を覺える御方はキヽメの早い
霊効散
胃腸藥
を御試し下さい
胃腸病。心臓病。腎。痔。適應樂
三年五年と忠ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
電話四四番
振替口座東京三〇〇六五番
定價一　五十錢　壹圓
八日分　廿日分
御子樣方には飲み易い小兒霊効散があります。

カメラ材料
藥品百貨
平電話三番
西村屋藥局

產婦人科
花柳病科
井坂醫院
午前宅診
午後往診
入院應需
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

磐城の御みやげ品
名物　霊峰羊羹（名産柿煉）
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹
同七濱……のり羊羹
同豐間……辨天羊羹
◎各種一本十錢
小川郷驛前
製造發賣元　平屋賣店

夜診
内科
胃腸病科
專門
花柳病科
性病科
皮膚科
松村醫院
（平市南町電一〇七番）
（見習看護婦募集）
診療時間

内臓外科一般（入院隨意）
外科花柳病科
平市六丁目（橋際）
松村外科醫院
電話三〇九

お醬油は……ヤマフル
醸屋
味噌醬油
たひら正宗
經節食料品
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番）（本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

歳晩の平市に一大突風！

勞農派一味十四名檢擧

今後の成行重大視さる

昨日抗日の牙城たる敵都南京を完全に攻略し、我が一億同胞が世界戰史上不朽の一頁を飾つた去る十三日の翌々十五日午前六時を期し、新聞記事の掲載を差止めて一斉檢擧したる日本無産黨並に日本勞働組合全國評議員會所謂勞農一派の治安維持法違反被疑者平署關係の十四名は爾來同署に留置嚴重取調べ中であつたが、今二十二日午前十一時を以て記事解禁となつた、今後の推移は彼かに臨斷をゆるされぬが、思想方面に於けるこの種の檢擧は同署近來の大量檢擧である

本籍福島市清明町二七、市内北白銀町四二居住、東北商工時報社發行人　佐藤清長(三三)

市内下川原一五居住、活版所職工　淺野眞一(二八)

本籍大分縣南海部郡佐伯町三ノ三五三、赤井村高萩居住、運送店人夫　石川武夫(三三)

本籍市内南町七一、同右鍛冶町一四居住、無職　小野誠一郎(三二)

本籍秋田縣由利郡下郷村法内字上里五二、好間村北好間字椎木平居住、日曹小田炭礦坑夫　鈴木浦治(四七)

本籍岩手縣氣仙郡米崎村米崎三二六、内郷村綴字七反田居住、元磐城炭礦民職線のうちに巧みに委を坑夫、社大常員として今春内郷村議選擧に立候補ユした共産主義的分子を摘出したもので『當局發表』にもある通り最近コミンテルン形勢であると

本籍新潟縣三島郡寺泊町寺泊七一、好間村上好間居住、以前足尾銅山で勞働運動に參加の經歷を有活動を開始、羽賀特高、佐藤司法兩主任以下同署員に推しての捜査隊を結成して檢擧

門脇春義(四四)の手を進めると共に家宅捜索によつて關係書籍其他證本籍双葉郡富岡町佛濕字遠山五、好間村北好間字推木平居住、小田山炭礦坑夫

横田警部以下來平

終幕見透しつかず

一味が檢擧された去る十五日、平署では本部の指令に基き午前六時を期して俄然ら見透しがつかないと

日本無産を清掃

今回の檢擧を機とし

結社に禁止命令

五日午前六時を期しこれら共産主義者は極力社會民主主義團体又は自由主義團体に潜入しその運動を利用して居るのでその取締へ勢ひこれらの團体に及ばねばならぬと云ふ見解を持つてゐるので今後一層增大する形勢であると

範圍一層增大か

今回の檢擧特異性

公認候補で當選以來

大井川市議同志獲得に奔走

昭和人絹の罷業に絡まり

本格的活動中絶さる

前日本礦夫組合系の三名は前記無産黨とは別個のもので現在は活動はしてゐないが、この方に對しても同署が嚴重追究中でその成行きを注視されてゐる

事件の過程

支那事變下にあり總檢擧の突風にあつた日本無産黨は以前『勞農無産協議會』と稱し、無産派の闘將加藤勘十が主宰してその主義綱領は前身の無産協議會と同樣のもので主義の大綱が資本主義に抗して私有財産制度を否認する所謂『反國体主義』を有してゐるところから治安維持法違反に抵觸したものである。然して大井川幸隆氏は去る六月、平市會議員の改選に際し最初は元關係を結んでゐた社會大衆黨を標榜して立候補する考へであつたが種々の事情から社大本縣支部聯合會より承認されず從つて『社大黨公認』として立候補の出來なかつた同氏は直に日本無産黨に走り同黨の公認候補として遂に當選したものでその當時から黨員獲得に奔走する一方正式に日本無産黨本部を連絡、八月に入つてからは暗々裡に『日本無産黨石城支部』の結成準備會を開くなど本格的活動に乘り出さんとする矢先きにあつて昭和人絹の罷業に絡まり陸軍刑法の適用を受ける身となつて活動は中絶された

更に今回平署の檢擧された無産黨系はその數十一名（外に日本礦夫組合員三名）で、これらに對しては當の大井川市議より入黨を勧告、正式に署名捺印したもの、其他のものがあり果して正式入黨者は今のところはつきりせぬが大体十二名中某々六名が入黨したものと云はれてゐる

關係者の略歴

日本無産關係

大井川幸隆(三〇)　本籍磐崎村白鳥字蟹打五一、市内中町二居住市會議員、旬刊『磐城の先驅』發行人、小名濱實業補習學校を卒業後信夫郡松川小學校で代用教員中運動に入る

加藤本誠一郎(三九)　本籍茨城縣東茨城郡石塚町石塚一四ノ三、内郷村宮字瀧六三居住無職、村會議員、磐炭坑夫をやめて飲食店を經營、元社大黨員、礦夫組合員から日本無産黨員となつて今日に及ぶ

丸山春藏(五二)　本籍福島市内の内一九、市内五丁目一六居住『磐城民友新聞』發行人

馬場京助(四五)　本籍市内北目町八九、同村木町三二居住、東京毎夕新聞平通信部主在『林檎』と號す

島田春雄(二八)　本籍東京府北多摩郡砂川村三五二、市内古鍛冶町一四居住、旬刊『磐城評論』發行兼編輯人

小宅三一二(三三)　本籍石川郡浅川町里白石内郷村宮字町田七八居住

古川磐六(三二)

無口な愛馬を撫でて

日夜苦樂を共に暮す

市内鎌田町出身　五十嵐孝次君通信

中陣を聽く

(51)

——皆々様しか。涯て無き曠野は一面我が皇軍は益々士氣旺盛にの御熱誠なるに銀幕を張り詰め、銃劍も萬歳氾濫の聲凍る様な寒下二十餘度、闘勝破竹の勢至る處日章旗を に溢れ滿ちて ひ乍ら無口な愛馬と毎日苦高く飜して居るとの新聞紙 出發任地に着 樂を共にして暮らしてゐます いて以來早や 五十日は何處 へか夢の樣に 行末の流れぬ○○江 は既に結氷○○討匪○隊の行動は許されて居ります。 然らに北支戰線に活躍する士の奮闘に感服致して居ります

此度北支戰線に赫々たる武勲を立てし皇軍の一部は凱歌を擧げてここに着きました吾らはその戰捷を祝福すると共に尚は一層緊張して盡忠報國に遺憾無きを期して居ります

内地も益々寒さ加はりて御一同樣にはお体に注意 御座います

（中略）入口○○萬と聞く ○○○○の大都會にも滿洲 事變以來幾多勇士を埋めた 林の中でペンを執り新さ 思ひが身に泌みて參ります

十二月十日

活躍を決意

市内仲間町出身　坂本一二君通信

——應召以來何ら異狀無く益々元氣旺盛に候。表記に轉職、無事任務遂行致し居り候間御放念下され度候（中略）今後とも各位の御聲援に副ふべく大い活躍致す覺悟に御座候。甚だ簡單なから右御一報申上度各位御一同にも宜敷御鶴聲御願ひ申上候

十二月八日

あすから『同情袋』募集

平市社會事業助成會では二十日からの方面同情週間に際し救濟資金募集のため各戸に『同情袋』を配布したがこれを方面委員、區長、青年團、愛國婦人會員らが左の日割で取纒めることゝなつた

廿三日—(第一班)樋越小路　古鍛冶町　研町　紺屋町　材木町　長橋町　堂の前　中町　十五丁目　大町　南町　鍛冶町　(第二班)田町　一丁目　二丁目　三丁目　四丁目　五丁目　新川町　月見町　堤の内

廿四日—(第一班)田町　南　白銀町　鐵道官舎　大工町　立町　鎌田町　下川原　禰宜町　仲間町　四間町　匠町　鷹匠町　柳町　北白銀町　(第二班)揚土　八幡小路　道匠小路　久保町　七軒町　北目町　櫻町　舊城跡　六間門　杉平　胡摩澤

廿六日—(第一班)番平　大室　鬼馬塚方面　(第二班)曲田　杉内　岩間　上岡　長之口方面

乞食凍死

高久村下高久字小鍛冶地内の通稱千五穴を根城としてゐた千葉縣『若代』と云ふのが去る披露目山武郡深海村井之内生れ乞食三田吉(六六)は中風で寝込つ

鐵道傭人採用試驗

早くも履歴書山積

地方に於ける就職熱の最も熾烈なものとして毎回應募者の群がる鐵道傭人採用試驗は來る一月二十三日東京鐵道局管下一齊に行はれることゝなり多數の應募者の關係から平市（場所未定）も試驗地となるであらうと見られ、平驛には早くも各方面からの履歴書が山積、來るべき試驗地獄を暗示してゐる

中野伍長戰死

南京攻略の尊い礎石となつた中野弘之伍長は本縣蠶糸學校卒業後出征前まで上小川村で蠶業教師をしてゐた、上海事變にも從軍した勇士で金鵄勳章を持つてゐる

人絹から發火

今二十一日朝七時五十分頃植田町昭和人絹工場第一工場試んでゐたが飢と寒さのため二十日午後二時頃冷くなつてゐるのを同僚が發見、平署で檢視した

お披露目

市内の各藝妓置屋では忘年會、新年會など當面の第一線に起たしむる爲昨今頻りに充インキ中であるが、開花から昨日左の日割で取纒めることゝなつた

廿三日—(第一班)樋越小路　古鍛冶町　研町　紺屋町　材木町　長橋町　堂の前　中町　十五丁目　大町　南町　鍛冶町　(第二班)田町　一丁目　二丁目　三丁目　四丁目　五丁目　新川町　月見町　堤の内

廿四日—(第一班)田町　南　白銀町　鐵道官舎　大工町　立町　鎌田町　下川原　禰宜町　仲間町　四間町　匠町　鷹匠町　柳町　北白銀町　(第二班)揚土　八幡小路　道匠小路　久保町　七軒町　北目町　櫻町　舊城跡　六間門　杉平　胡摩澤

廿六日—(第一班)番平　大室　鬼馬塚方面　(第二班)曲田　杉内　岩間　上岡　長之口方面

最新式穴の傷まぬ洋式ドンコ帳簿　一圓、一圓八十錢　二圓五十錢　書く手間が要らぬ

デリカ切抜き住所錄（人名簿）　二〇〇名、三〇〇名、五〇〇名、一千名、各種　魁文堂　電話三一三番

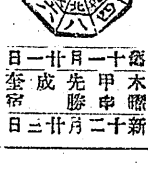
廣告

平市新川町　北川外科　電四六四

平市南町　大和田醫院　電話一七〇番

平市南町　根本産婦人科　電三四

平市新川町　五十嵐産婦人科　電三六九



諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　緒談廣

▲一白　萬事調子好く進めども勢過ぐればさてつまり▲二黑　義理のくびかせにはとりて煩悶する日　理智に生きよ▲三碧　下手の考休むにたりさく動は一切せぬが吉▲四綠　目上の同情を失はぬ樣眞實な愛を守るが吉▲五黃　緊張味

日　廿一　廿一　廿一